

令和6年度「総合的な学習の時間」の全体計画

1 本校の教育目標

一 やさしい人

一 たくましい人

一 よく学ぶ人

2 三原中における総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、八丈島の人、もの、ことや広い社会に関わる総合的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようするために、以下の資質・能力を育成する。

＜知・技＞八丈島の人、もの、ことを広い世界から俯瞰しながら探究する学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、八丈島の特徴やよさ、課題に気付く。

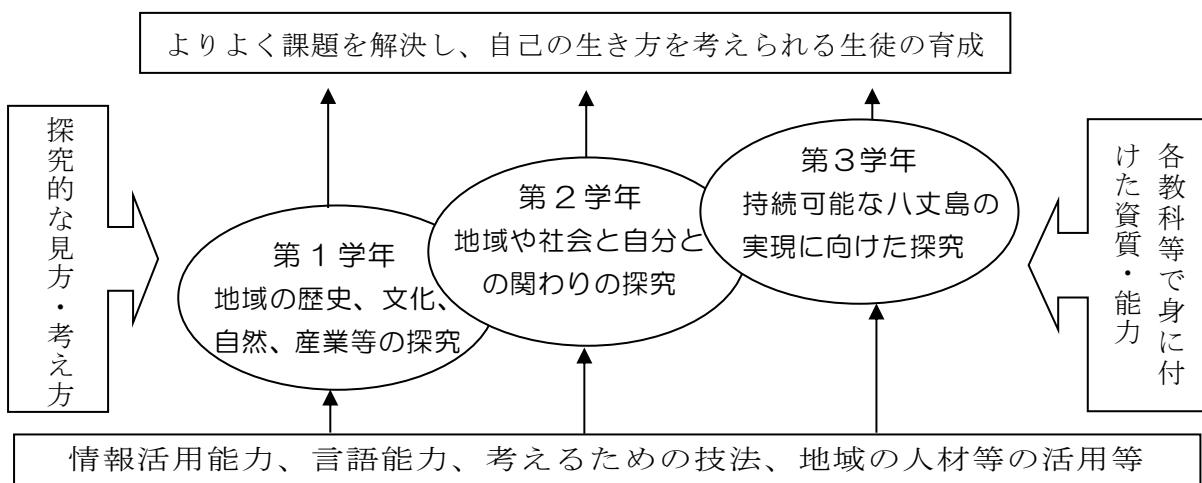
＜思・判・表＞八丈島や広い世界の人、もの、ことの中から問い合わせを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ、表現する力を身に付ける。

＜人間性等＞探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な八丈島を実現するための行動の仕方を考え、たくましく社会に参画しようとする態度を育てる。

3 3年間を貫く探究課題

『八丈島の人、もの、こと～広い世界から俯瞰して～』

4 探究の内容と学びの構造図



5 学習計画

探究課題	第1学年 (50)	第2学年 (70)	第3学年 (70)
	「八丈島の人、もの、こと～広い世界から俯瞰して～」		
地域の歴史、文化、自然、産業等の探究 「八丈島の人、もの、こと」	地域や社会と自分との関わりの探究 「地域・社会で働く人々」	持続可能な八丈島の実現に向けた探究 「私たちの島、私たちの未来」	
○八丈島の自然や歴史、町づくりや地域経済、伝統文化、地域が抱える課題等について調べよう ・ガイダンス(1) ・調べ学習、身近な人やもの取材(8)	○社会のさまざまな職業や社会貢献、働くことの意味等について調査しよう ・ガイダンス(1) ・さまざまな職業、働くということ(3) ・キャリア教室(事前学習6、当日4)	○京都・奈良を探訪し、町づくりや地域活性化、伝統文化を継承する取組等を調査しよう ・修学旅行(事前学習9、当日6)	
○調査を基に、八丈島の人・もの・ことと自分との関わりなどについてまとめ、発表しよう ・調査のまとめ(5) ・意見発表会(発表準備3、当日2)	○調査を基に、職業や働くということ、自己の将来と他者や社会との関わりなどについてまとめ、発表しよう ・キャリア教室のまとめ(5) ・意見発表会(発表準備3、当日2)	○調査を基に、地域活性化などに関わる八丈島の諸課題を、地理的要因や文化等との関係から整理しよう ・修学旅行のまとめ(5)	
○地域を探訪し、町づくりや地域活性化、伝統文化の継承等のために尽力する人々の取組を調査しよう ・校外学習(事前学習8、当日4)	○実際に職場を体験し、また、職業選択や社会貢献、働くことの意味等について調査しよう ・職場体験(事前学習6、当日18)	○八丈島を含めた広い社会を俯瞰し、諸課題とその解決策、よりよい社会の実現に向けた提言等を発表しよう ・意見発表会(まとめ・発表準備6、当日2)	
○調査結果をまとめ、八丈島の課題解決に向けた取組を考えて提言しよう ・まとめ、成果物の作成(8) ・学習発表会(発表準備5、当日2)	○体験や調査を基に、職業や働くということ、自己の将来と地域社会との関わりなどについてまとめ、発表しよう ・職場体験のまとめ(5) ・進路学習(3) ・学習発表会(発表準備3、当日2)	○自らの進路や将来のビジョンについて具体的に考えよう ・自らの生き方の探究(11)	
		○八丈島の持続可能な在り方について探究し、成果物を作成して発表しよう ・個別探究、成果物の作成(20) ・学習発表会(発表準備5、当日2)	

※時間の配分はあくまで仮のものである。実際の指導に際して、生徒の実態に応じて時間を配分し直してもよい。

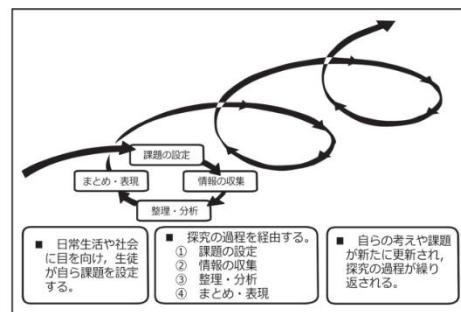
また、時間割を調整して、適切な時期での活動を図ることも考えられる。

6 三原中の総合的な学習の時間で目指す学習の在り方

（1）探究的な見方・考え方を働かせること。

探究的な見方・考え方とは、各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い合わせ続けるという総合的な学習の時間の特質に応じた見方・考え方のこと。探究のプロセス（右図参照）で、この見方・考え方を働かせることが重要である。

探究的な学習における生徒の学習の姿



（2）横断的・総合的な学習を行うこと。

総合的な学習の時間の探究課題は、特定の教科等の枠組みで完結するものではなく、横断的・総合的である。その探究課題の解決に向けて、各教科等で身に付けた資質・能力を繰り返し活用・発揮しながら取り組むことが、社会で生きて働く資質・能力を育成する上で重要である。ESD カレンダーなどを作成し、各教科等の単元を関連付ける取組も考えたい（下図参照）。更に、事象を多様な角度から俯瞰して捉えさせるには、単元のみならず各教科特有の見方・考え方と関連付け、自在に扱えるように育てることが重要である。

（3）よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくこと。

総合的な学習の時間においては、自己の生き方を考えることが大切であり、その際、具体的な活動や事象との関わりをよりどころとし、また身に付けた資質・能力を用いて、よりよく課題を解決する中で多様な視点から考えることが大切である。また、その考えを深める中で、更に考えるべきことが見いだされるなど、常に自己との関係の中で見つめ、振り返り、問い合わせていこうとすることが重要である。

総合的な学習の時間と各教科等の単元を関連付けた年間指導計画（例）

年間指導計画（第3学年）

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月
総合的な学習の時間 (70)	私たちの未来～今昔。暮らしの変化を探ろう～ ○昔の写真をもとに地域探訪し、地域の暮らしの変化を調査しよう ○暮らしの変化に伴い、私たちの何が変わったのか、どのような問題が生じたのか、豊かな自然とは何かについて議論しよう ○自分はどうのように生活し、社会と関わっていくかまとめよう ・写真をもとにした地域探訪、インタビュー等の調査活動 ・エネルギー消費に関する講演会 ・電気を使わない生活体験（森林キャンプ） ・遊びを通じて（振り返り）	私たちの未来～地球環境討論会～ ○地球温暖化問題、水不足問題、食糧問題、エネルギー問題等の私たちの暮らしに関わる諸問題を、各国の主要エネルギー資源事情、社会制度、歴史的背景、地理的原因、文化、人口などの関係から整理しよう ○地球環境討論会を行い、世界や自分たちのこれから在り方について様々な立場の人と議論しよう ○国際社会の在り方、関係づくり、自らの生き方についてまとめよう ・私たちの暮らしに関する講演会 ・ジグソーラーレース、ポスターセッション ・地球環境サミット ・遊びを通じて（振り返り）						
国語 (105)	握手 社会との関わ りを伝えよう	相手や目的に応 じたスピーチを する	魅力的な 紙面を作 ろう	もっと伝わ る表現を目 ぎして	「批判」の書業 をためる	新開の社説と 比較して読もう	「おくの細 道」から 古典を心 の中に	話しあって 経験をまと めよう
社会 (140)	近代国家の歩みと国 際社会	二度の世界大戦と日 本	現代に強く日本と世 界	現代社会と私たちの 生活	個人の尊厳と日本國 憲法	近代の民主政治と社 会	私たちの暮らしと經 済	地球社会と私たち
数学 (140)	式の展開と因数分解	平方根	2次方程式	関数	図形の相似		円周角と中心角	三平方の定理
理科 (140)	生物の成 長とふえ 方	遺伝の規則性と 遺伝子	水溶液とイオン	酸・アルカリと塩 基	力のつ り合い	物体の 運動	多様なエネル ギーとその移 り変わり	エネルギー 資源とその 利用
							地球とそ の外側の 世界	太陽と 恒星の 動き
							自然界 のつり 合い	人間と 環境
								自然が人間の 生活に及ぼす 影響

7 評価

(1) 評価は各学期を基本とし、学習の状況、学習に対する態度等について文章で記述する。

(2) 評価規準は次の通りとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
八丈島の人、もの、ことを広い世界から俯瞰しながら探究する学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、八丈島の特徴やよさ、課題に気付いているか。	八丈島や広い世界の人、もの、ことの中から問い合わせを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ、表現する力を身に付けているか。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な八丈島を実現するための行動の仕方を考え、たくましく社会に参画しようとしているか。